

# 小牧市民病院 腎臓内科

## 紹介内容

- ・ 透析室の様子
- ・ 当科の概要
- ・ 2020年の実績
- ・ 研修の週間スケジュール



# 透析室の様子



# 概要

当科が担当する疾患は、腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、膠原病（SLE・強皮症など腎症状を呈する疾患）です。通常の血液透析以外に、持続血液透析濾過、エンドトキシン吸着、血漿交換、顆粒球吸着など様々な血液浄化療法に対応しています。

診療体制は、名古屋大学医学部腎臓内科の関連施設であり常勤医4名体制となっています。2010年4月より日本腎臓学会研修施設として、2012年4月より日本透析医学会認定施設として認定され、カリキュラムに沿った専門医育成の使命も担っています。

# 実績

2020年の腎臓内科入院患者総数（一般内科を除く）は157名、腎生検数は34件でした。手術件数は65件、シャントPTAは22件でした。

新規透析導入患者数は53名で（離脱や死亡例は除く）、全例が血液透析でした。腹膜透析（CAPD）の通院患者は6名でした。末期腎不全治療の選択肢の一つとして先行的腎移植（PEKT）が普及し、3名の患者さんが希望する施設（当院の泌尿器科を含めて）で腎移植を受けています。

持続血液透析濾過（CHDF）施行患者数は20名、エンドトキシン吸着（PMX）施行患者数は3名、血漿交換施行患者数は6名でした。CHDFやPMXについては、ICUや救急病棟にて主に当科が管理しています。

急激な腎機能障害を早期に発見して対処するために、急性腎傷害（acute kidney injury：AKI）という概念が提唱されています。AKIでは初期治療が重要であり、当科が早期に治療介入することによって患者の生命予後改善を目指しています。

病診・病病連携に関しては、積極的に取り組んでいます。新規血液透析導入患者のほぼ全例を近隣の透析施設に紹介し、一般外来患者も状態が落ち着ついた時点で近医に紹介しています。慢性腎臓病（chronic kidney disease：CKD）の啓蒙活動も重要であり、かかりつけ医を対象に講演会を不定期に開催しています。

# 研修の週間スケジュール

	午前	午後
月	病棟・血液浄化センター回診	腎臓内科外来
火	病棟・血液浄化センター回診	腎生検・腎病理検討会
水	病棟回診・手術	手術・術後管理
木	一般外来研修 病棟・血液浄化センター回診	一般外来研修 腹膜透析外来 入院患者カンファレンス
金	部長回診 血液浄化センター回診	腎臓内科外来 透析患者カンファレンス

病院見学ぜひ来て下さい！



研修医、内科レジデントとカンファレンス時の様子